

統計でみる熱中症

薩摩川内市消防局管内では、熱中症による救急出場が年々増加しており、特に65歳以上の高齢者の搬送が多くみられます。救急搬送患者増加の要因として、気温や湿度の上昇による環境の変化などが関係していることが分かっています。

平成28年中に管内で発生した熱中症による救急搬送データを基に、年齢区分別発生状況、発生場所、時間帯などをグラフ化してみました。

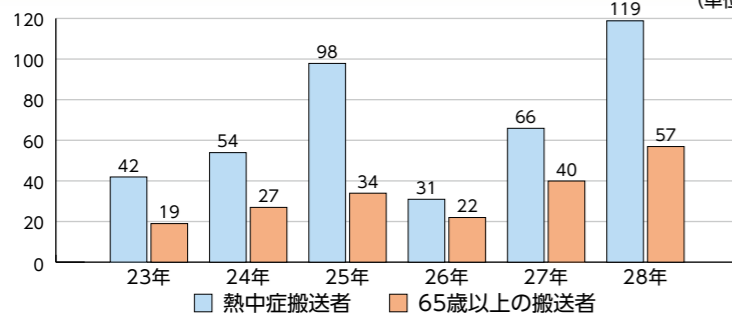
*熱中症の詳細は、14ページの「健康情報」で確認ください。



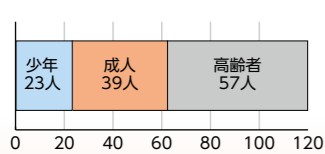
**応急手当でも
症状が回復しない場合は
速やかに119番しましょう**



薩摩川内市消防局管内の熱中症搬送者と65歳以上の搬送者(H23～H28年)
(単位:人)



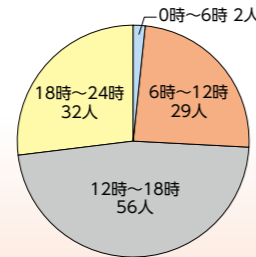
救急搬送 年齢区分別人数(平成28年中)



少年: 満7歳以上満18歳未満の者
成人: 満18歳以上満65歳未満の者
高齢者: 満65歳以上の者

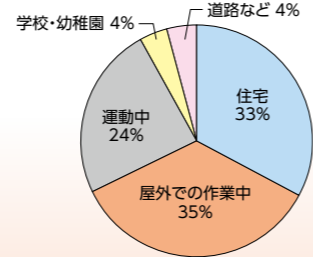
*搬送された119人のうち、65歳以上の高齢者が約半数を占めています。

発生時間帯区分別人数(平成28年中)



*日中が約半数を占めています。また、高温の室内や屋外での作業中、運動中に多く発生しています。

発生場所割合(平成28年中)



*「屋外での作業中」が35%と最も多く発生しています。「住宅」は33%で、高温の室内にいたことが原因となっています。

消防団員募集

まちを守る。安心をつくる。

【活動内容】

- 火災・災害活動出場
- 火災予防・災害警戒活動
- 各種訓練活動
- 消防団が行う主要行事への参加

*最近では、木遣り唄や女性団員によるハンドベル演奏など、積極的に活動を行っています。

入団資格:本市に居住しており

18歳以上で心身ともに健康な方



消防団について、もっと知りたい方や、消防団員になりたい方は、消防局警防課消防団係までご連絡ください。☎22-0125



PA連携出場にご理解とご協力を

薩摩川内市消防局では、119番入電時に重篤な傷病者であると予測される場合や、救急隊のみでは活動が困難と思われる場合に対し、救急活動が円滑に行われるよう、救急車と同時に消防車が出場する「PA連携出場」を実施しています。

PA連携とは?

消防ポンプ車(Pumper)と救急(Ambulance)が同時出場することで、頭文字をとって「PA」と呼ばれています。

消防車にもAEDなどの救急資機材を積載しており、救急隊が到着するまでの間、救命処置を行うことができます。



子どもに教えて 火事になったらすぐ



【編集】= 薩摩川内市消防局予防課 <http://www.satsumasendai-fd.jp>

薩摩川内市消防局

検索

4月19日、さいたま市のマンションの一室で、母親の不在中に火事があり、4歳の長女が死亡、5歳の長男と8ヶ月の次女が意識不明の重体となる、痛ましい事故が発生しました。

もし火災が発生したら、真っ先に危険にさらされるのは幼い子どもたちです。

好奇心旺盛な子どもたちは、ライターで火をつけることや、コンロに点火する大人のしぐさをよく見えています。

子どもたちだけを残して外出するなど、親の目が離れたときに事故は起こりがちです。日頃から、火の恐ろしさや火遊びの危険性を繰り返し教えることがとても重要となります。

また、火遊びをしてはいけないという教育だけに終わらせず、万が一火災に遭遇したら、すぐに「安全な場所に逃げて」、火災が発生しても「命を守って」、無理して火を「消そうとしないで」、などの命を守る教育も大切です。



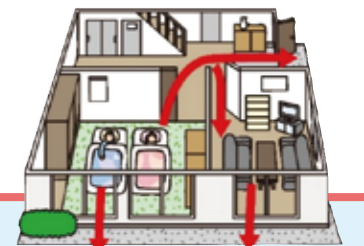
火遊びを防ぐポイント

- ①ライターやマッチなどは、子どもが手の届くところに置かない。
- ②子どもの前で、むやみにライターなどを使用しない。
- ③ライターはチャイルドレジスタンス機能が付いたものを使用する。
- ④子どもだけで火を取り扱っているのを見掛けたら、注意する。
- ⑤小さな子どもだけを残して外出しない。



避難のポイント

- ①住宅用火災警報器の設置と維持管理を行い、警報音が鳴ったらすぐに逃げる。
- ②火災による死因のほとんどは煙を吸い込むことが原因となっているので、できるだけ低い姿勢で避難する。
- ③玄関以外に、外に避難できる窓などをあらかじめ確認しておく。
- ④火災が発生したら、屋外の煙が来ない方向へ逃げる。
- ⑤一度逃げたら、大切な物があっても絶対に戻らない。
- ⑥近くにいる大人に火事を知らせる。



花火シーズン到来!

夏の風物詩といえば花火です。以下のポイントを守り、楽しい思い出をつくりましょう。

- 風がないなど、気象条件の良いときに!
- 子どもたちだけでなく、大人同伴で!
- 水バケツなどを用意し、遊び終わった花火は水につける!
- 周囲に燃え移る物がない、安全な場所で!

